

# 県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

(ため池等整備事業・上三谷客地区)

愛 媛 県

目 次

第1章 目的	1	第4節 排水計画	(該当なし)
第2章 地域及び地積		第5節 道路計画	(該当なし)
第1節 地域	1	第6節 農用地造成計画	(該当なし)
第2節 地積	1	第7節 洪水調節計画	(該当なし)
第3章 現況		第8節 干拓計画	(該当なし)
第1節 気象及び海象		第9節 農用地整備計画	(該当なし)
1 一般気象	1	第10節 耐震ため池改修計画	
2 特殊気象	1	1 洪水吐改修計画	(該当なし)
3 海象	(該当なし)	2 堤体補強計画	6
第2節 土地状況		3 取水施設改修計画	(該当なし)
1 地形, 土壌及び侵食の程度	1	第5章 主要工事計画	
2 土地分類	(該当なし)	第1節 用水施設	(該当なし)
3 土地利用の状況	2	第2節 排水施設	(該当なし)
4 土地所有の状況	2	第3節 道路及び索道	(該当なし)
第3節 水利状況		第4節 農用地造成	(該当なし)
1 用水状況	2	第5節 洪水調節施設	(該当なし)
2 排水状況	(該当なし)	第6節 干拓施設	(該当なし)
3 河川状況	(該当なし)	第7節 農用地整備施設	(該当なし)
第4節 道路現況	(該当なし)	第8節 耐震ため池改修施設	
第5節 地域農業の概況		1 貯水池	(該当なし)
1 産業別就業人口	3	2 堤体補強施設	7
2 経営耕地広狭別経営体数及び耕地の 分散状況並びに専業別農家数	3	第6章 附帯工事計画	(該当なし)
3 動力農機具及び主要家畜頭数	4	第7章 工事の着手及び完了の予定時期	7
4 主要作物作付状況	4	第8章 環境との調和への配慮	7
5 農家の動向	4	第9章 換地計画の概要	(該当なし)
第6節 地域環境の概況	4	第10章 事業費の総額及び内訳	8
第4章 一般計画		第11章 効用	8
第1節 事業計画の要旨		第12章 関連する事業	(該当なし)
1 要旨	5	第13章 現況・計画図面	8
2 事業別面積	5	1 現況平面図	
第2節 営農計画及び土地利用計画		2 計画平面図及び土地利用計画図	
1 営農計画の概要	5	3 主要構造図	
2 土地利用区分	5		
3 作付方式	5		
4 生産計画	5		
5 労働改善計画	(該当なし)		
6 級地別土地利用区分	(該当なし)		
7 土地配分計画	(該当なし)		
第3節 用水計画	(該当なし)		

第1章 目 的

上三谷客池は、伊予市上三谷地区の主要な貯水施設で江戸時代頃に築造され、昭和41年に改修が行われている。愛媛県では、東日本大震災を契機にため池などの重要施設の耐震診断を進めており、本ため池については、平成24年度から平成25年度にかけて耐震診断及び対策工法の検討を行った。その結果、耐震性能を有していないことが判明した。また、伊予市ではため池ハザードマップを作成しており、本ため池が決壊した場合、多数の人家が被害を受けるだけでなく、集会所などの公共性の高い施設や各事業所の被害が予想されている。今後、南海トラフ地震発生が危惧されている中、農業生産の維持や農業経営の安定を図ることはもとより、地域住民の暮らしの安全（生命・財産、公共性の高い施設の被害防止など）のためにも、上三谷客池の耐震性向上は緊急の課題となっている。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
ため池等整備事業	愛媛県伊予市上三谷

第2節 地 積

(令和7年7月現在) (第2表)

事業名	市町村名	現況地目						計 (ha)	備 考
		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)			
ため池等整備事業	伊予市	49.5	0.3				49.8		
	計	49.5	0.3				49.8		
合計		49.5	0.3				49.8		

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	松山地方観測台	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	1991年～2020年	4月～9月	10月～3月		
平均気温(℃)	22.8	10.7	16.8		
降水量	平均(mm)	936.9	467.8	1,404.7	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	54.8	45.5	100.3	
	基準年(日)	—	—	—	
根 雪 期 間	—				
無 霜 期 間	—				
最 多 風 向	かんがい期：東 非かんがい期：西北西	最大風速 (風向)	25.4m/s (南南東)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日	5月～9月 1945年9月17日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
松山地方観測台																
観測期間	1890年1月～2025年6月															
最大日雨量(mm)	215.1	S18.7.23	1/105	206.0	H30.7.6	1/78	195.1	S20.7.12	1/55	187.5	H29.9.17	1/43	187.0	H17.7.3	1/42	
最大時間雨量(mm)	78.0	R6.11.2	1/85	60.5	H4.8.2	1/24	55.0	H16.8.23	1/16	52.8	S38.8.30	1/13	52.0	S36.10.26	1/12	
最大4時間雨量(mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量(mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続干天日数(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

3 海 象

(該当なし)

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備 考		
		1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計		最高	最低
										8°～10°	10°～15°	15°～15°						
ため池等整備事業	面積(ha)		49.5				49.5	0.3							0.3	51	25	
	比率(%)		99.4				99.4	0.6							0.6			
合計	面積(ha)		49.5				49.5	0.3						0.3				
	比率(%)		99.4				99.4	0.6						0.6				

(第4表-1-2)

土壌名(区)	土 壤 統 一 区 分 一 覧 表								面積(ha)			備 考	
	土 壤 断 面								事 業 名				
	色	腐 植 層	礫 層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層	堆積様式	母 材	ため池等整備事業		計
					表土	下 層 土							
一層	二層	三層											
国領統	灰色/灰色	なし	あり	あり	壤質粘質	壤質粘質	-	なし	水積	非固結水成岩	49.8	49.8	
清武統	灰色/灰色	なし	なし	あり	壤質	壤質	-	なし	水積	非固結水成岩			
計											49.8	49.8	

## 2 土地分類

(該当なし)

## 3 土地利用の状況

(令和7年7月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地	原 野	その他	計	備 考
		水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他の樹園地	用材林	薪炭林					
ため池等整備事業	伊予市	49.5	0.3										49.8	
	計	49.5	0.3										49.8	
	合計	49.5	0.3										49.8	

## 4 土地所有の状況

(令和7年7月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区 分	個人所有	計	備 考
ため池等整備事業	面積(ha)	49.8	49.8	
	受益者数(人)	137	137	
	筆数(筆)	436	436	
	権利関係	所有権・賃借権 使用貸借権		
	備考(関係戸数)			
合 計	面積(ha)	49.8	49.8	
	受益者数(人)	137	137	
	筆数(筆)	436	436	
	権利関係			
	備考(関係戸数)			

## 第3節 水利状況

## 1 用水状況

## (1) 用水系統

現況用水系統図のとおり。

## (2) 用水施設

## (ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	か ん が い 面 積					計	水 利 権		償行水利権		延べ取水量	備 考
		50 ha以上		10 ~ 50 ha		10 ha未満		箇所	m3/s	箇所	m3/s		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					箇所	
ため池等整備事業	貯水池			1	49.8		1	49.8	-	-	-	-	
	井 堰												
	自然取入口												
	揚水機												
	その他												
	計			1	49.8		1	49.8	-	-	-	-	
合 計				1	49.8		1	49.8	-	-	-	-	



3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目	動力農機具							主要家畜						備考	
	トラクター		コンバイン		その他			乳用牛		肉用牛		採卵鶏			
	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)			
市町村名															
伊予市															
計															
100戸 当たり数量															
利用戸数 割合 (%)															

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		伊予市				計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)		2,510				2,510	2,510		
総本地面積(ha)		-				-	-		
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
	田	表作	598	516			598	516	23.8
裏作		86	320			86	320	3.3	
小計		684				684			
冬レタス		25	1,248			25	1,248	1.0	
たまねぎ		9	4,011			9	4,011	0.4	
夏秋きゅうり		7	3,100			7	3,100	0.3	
夏秋トマト		15	2,133			15	2,133	0.6	
夏秋なす		14	2,993			14	2,993	0.6	
夏秋ピーマン		3	3,033			3	3,033	0.1	
その他		122	—			122	—	4.9	
小計	195				195				
樹園地	温州みかん	54	1,881			54	1,881	2.2	
	いよかん	13	1,013			13	1,013	0.5	
	その他	507	—			507	—	20.2	
	小計	574				574			
計		1,453			1,453		57.9		
市町村別延べ作付率(%)		57.9				57.9			

5 農家の動向

(第7表-5)

項目	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
	B	A		B	A		作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の 状況 (C年を100と する指数)	農業経営体数	85.9	70.5	耕地	89.6	74.8	水稻	95.6	94.5	乳用牛	-	-	動力田植機			過疎 山振 特農 農振	A:令和年 (2) B:平成年 (27) C:平成年 (22)
	専業農家数			田	90.4	80.5	麦類	113.3	188.3	肉用牛	-	-	トラクター				
	第一種兼業農家数			畑	137.3	121.1	豆類	120.0	100.0	採卵鶏	77.5	2.9	コンバイン				
	第二種兼業農家数			樹園地	80.7	62.2	野菜類	-	88.8								
	農業従事者数	87.4	69.5				果樹類	-	-								
変化の理由	後継者不足・高齢化に伴う離農により減少している。			農地の転用により耕地面積が減少している。			耕地面積の減少に伴い、作付面積も減少している。			農家数の減少に伴い減少している。						農林業 センサス	

## 第6節 地域環境の概況

## 自然環境

本地区は、伊予市の中心部から東へ3kmに位置し、上野及び下三谷に挟まれた区域であり、傾斜地には樹園地が広がり、平坦地には水田を中心とした農地が広がっている。気候は温暖寡雨な瀬戸内式気候であり、年中温暖で年間降水量が極めて少ないことから、地区内には大小のため池が数多く築造されている。

## 社会環境

市の人口は年々減少し続け、現在16,341世帯、34,895人(令和7年6月末現在)となっており、産業構造では、第一次産業11.9%、第二次産業25.0%、第三次産業63.1%(令和2年国勢調査)となっている。  
松山自動車道が市の中央を通り、伊予インターチェンジは伊予市内のみならず、松山空港へのアクセスとしても利用されている。また、集落を結ぶ基幹的な道路として、県道砥部伊予松山線が南北に農免農道が東西に走っている。

## 生産環境

本地区は、水稻や野菜の複合経営が営まれ、地理的優位性を生かした都市近郊型農業を展開している。  
近年、他産業への流出に伴い離農者が増加しており、後継者不足が深刻な問題であるが、ほ場整備を実施済みであり、農業生産基盤は整っている。



5 労働改善計画  
(該当なし)

6 級地別土地利用区分  
(該当なし)

7 土地配分計画  
(該当なし)

第3節 用水計画  
(該当なし)

第4節 排水計画  
(該当なし)

第5節 道路計画  
(該当なし)

第6節 農用地造成計画  
(該当なし)

第7節 洪水調節計画  
(該当なし)

第8節 干拓計画  
(該当なし)

第9節 農用地整備計画  
(該当なし)

第10節 耐震ため池改修計画

1 洪水吐改修計画  
(1) 計画基準雨量  
(該当なし)

(2) 計画洪水量  
(該当なし)

2 堤体補強計画

工区名	工法	法面保護	堤高
上三谷客池	上流側：堤体改良盛土入替工法 下流側：堤体盛土入替工法	上流側：布製型枠、張芝工 下流側：張芝工	11.6m

3 取水施設改修計画  
(該当なし)

## 第5章 主要工事計画

### 第1節 用水施設

(該当なし)

### 第2節 排水施設

(該当なし)

### 第3節 道路及び索道

(該当なし)

### 第4節 農用地造成

(該当なし)

### 第5節 洪水調節施設

(該当なし)

### 第6節 干拓施設

(該当なし)

### 第7節 農用地整備施設

(該当なし)

### 第8節 耐震ため池改修施設

#### 1. 貯水池 (該当なし)

#### 2. 堤体補強施設

A, B断面ともに、上流側は、改良土による盛土入替工法、下流側は、流用土による盛土入替工法にて改修し、堤体の安定を図る。

A断面 150.0m

B断面 186.0m

## 第6章 附帯工事計画

(該当なし)

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

令和8年度～令和15年度

## 第8章 環境との調和への配慮

本地区で実施した生き物調査において、保全対象である昆虫や植物は確認されていない。  
また、本地区で実施する箇所は田園環境整備マスタープランの中で環境配慮区域に該当しているため、水替等の排水は沈砂地を設け、土砂の流出を防止する。

(生物)

- ・現時点では該当なし。
- ・希少種が事業実施中に確認された場合は、速やかに生育環境整備等の対策を講じる。

(植物)

- ・現時点では該当なし。
- ・希少種が事業実施中に確認された場合は、速やかに生育環境整備等の対策を講じる。

## 第9章 換地計画の概要

(該当なし)

区分		事業名	(百万円)	備 考
		本工事費	782.0	令和7年度単価
		測量及び試験費	38.0	
		用地買収及び補償費	20.0	
		計	840	
関連事業(参考)				

効果項目	区 分	全体の効果額(千円)		効果発生面積 (ha)	備 考
		年総効果(便益)額	現況年総農業所得額 (年総増加所得額)		
食料の安定供給確保に関する効果		△ 112	21		
	作物生産効果				
	品質向上効果				
	営農経費節減効果				
	維持管理節減効果	△ 112	21		
	営農に係る走行経費節減効果				
農業の持続的発展に関する効果		62,422	9,811		
	耕作放棄防止効果				
	災害防止効果(農業)	62,422	9,811		
	農業労働環境改善効果				
農村の振興に関する効果		78,358	0		
	災害防止効果(一般資産)	78,358			
	地域用水効果				
	一般交通等経費節減効果				
多面的機能の発揮に関する効果		4,072	0		
	災害防止効果(公共資産)	4,072			
	水源かん養効果				
	景観・環境保全効果				
その他の効果		0	0		
	国産農産物安定供給効果				
	計	144,740	9,832		(評価期間 48年)

第12章 関連する事業

(該当なし)

第13章 現況・計画図面

1 現況平面図

別添「事業計画一般図」のとおり

2 計画平面図及び土地利用計画図

別添「事業計画一般図」および「土地利用計画図」のとおり

3 主要構造図





別添「三面図」のとおり

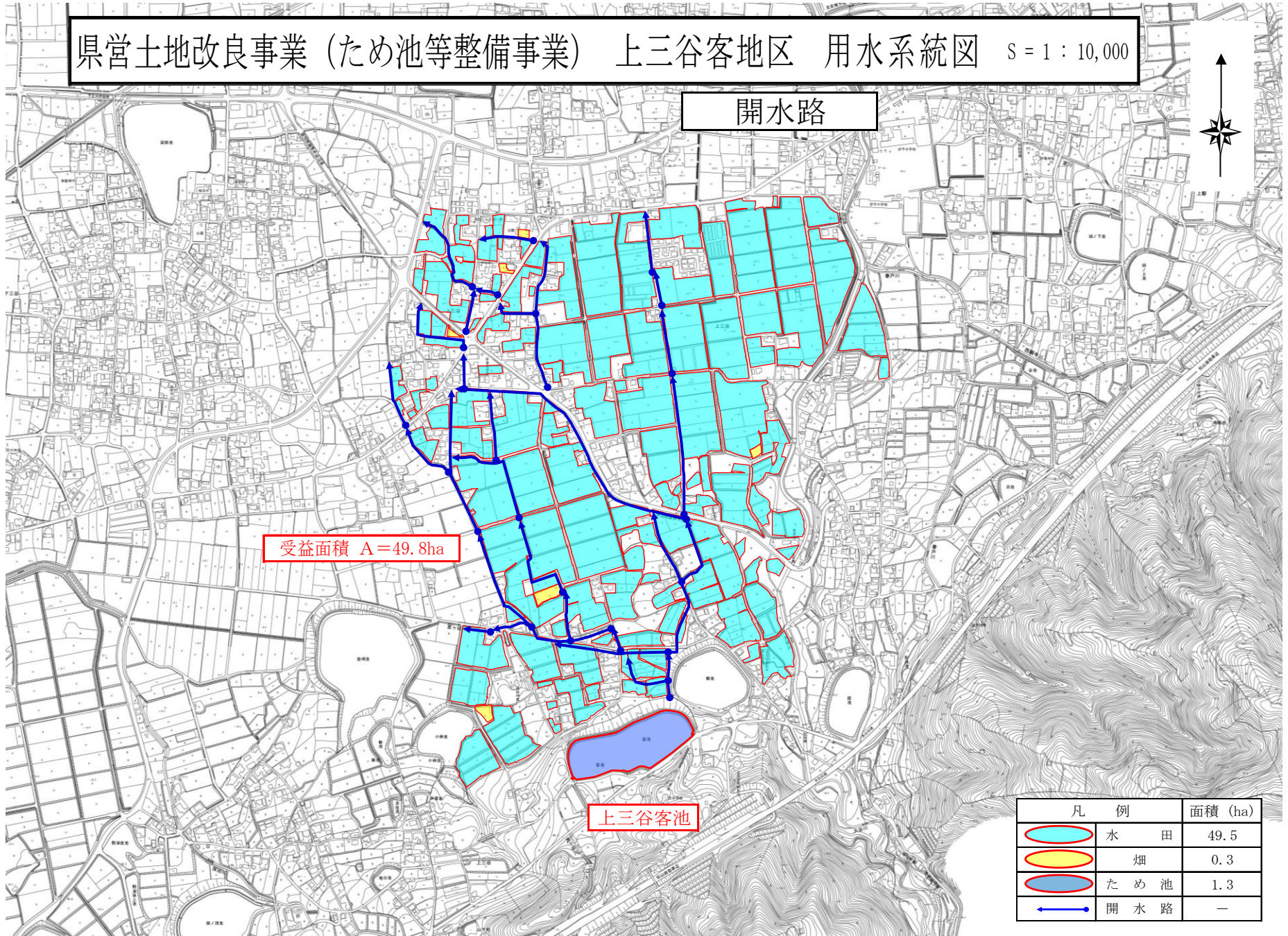
県営土地改良事業（ため池等整備事業） 上三谷客地区 用水系統図 S = 1 : 10,000

開水路

受益面積 A = 49.8ha

上三谷客池

凡 例	面積 (ha)
 水 田	49.5
 畑	0.3
 た め 池	1.3
 開 水 路	—



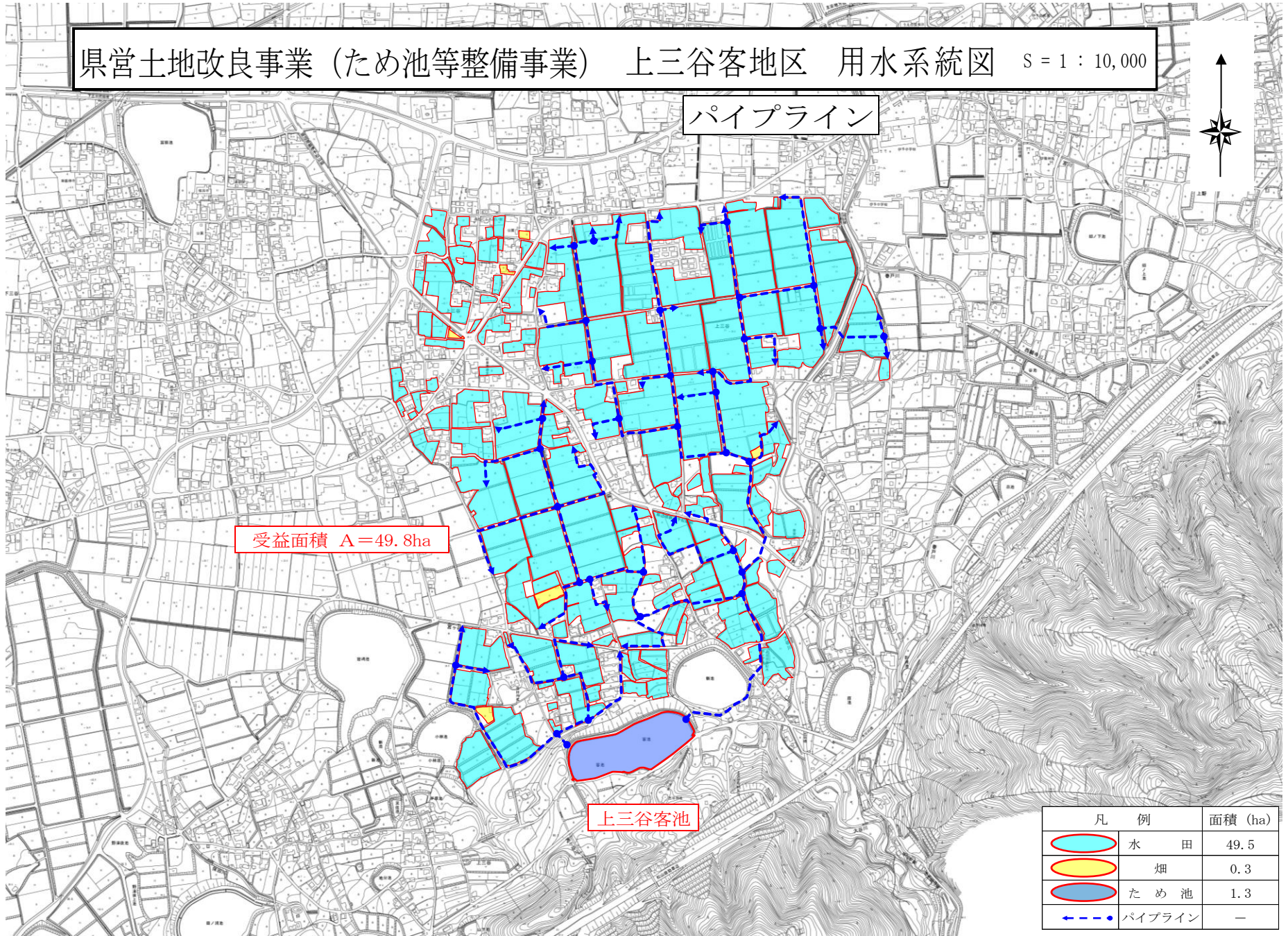
県営土地改良事業（ため池等整備事業） 上三谷客地区 用水系統図 S = 1 : 10,000

パイプライン

受益面積 A = 49.8ha

上三谷客池

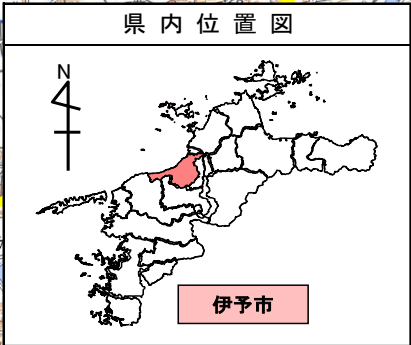
凡 例	面積 (ha)
 水 田	49.5
 畑	0.3
 た め 池	1.3
 パイプライン	—



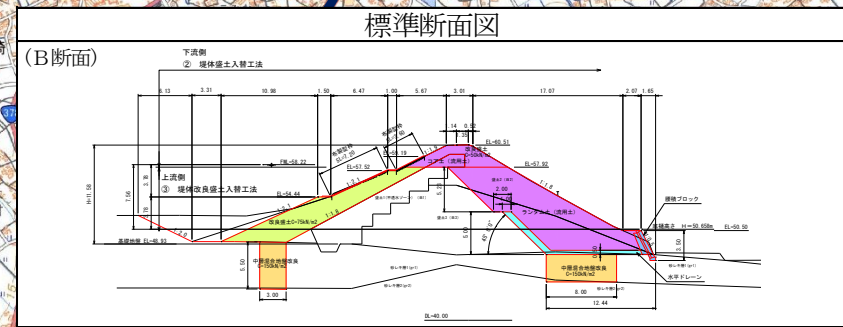
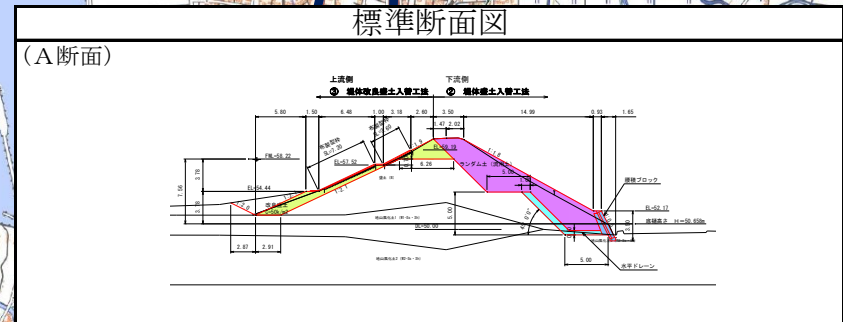
# 県営土地改良事業（ため池等整備事業）上三谷客地区事業計画一般図

所在地 愛媛県伊予市上三谷

縮尺 1/25,000



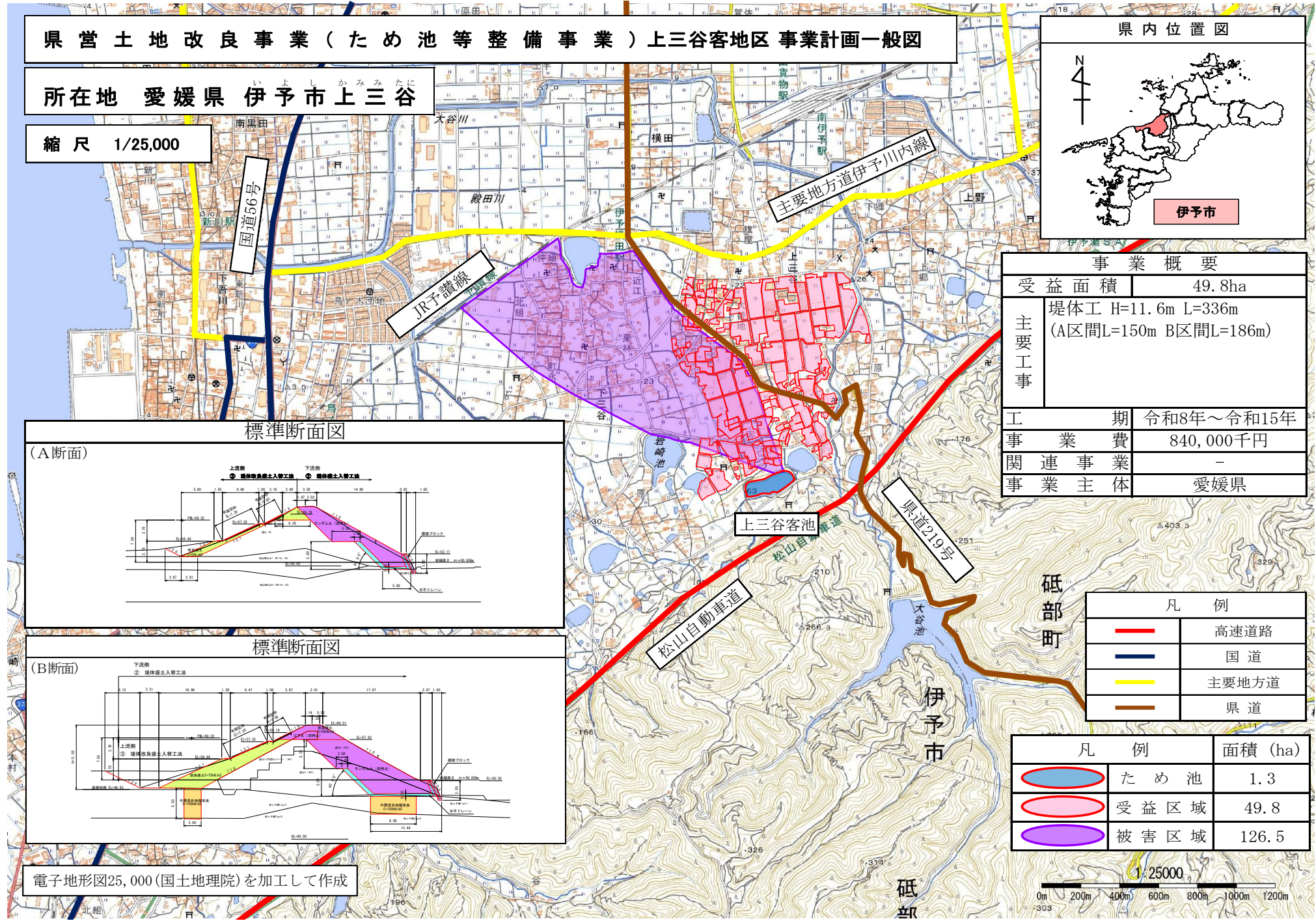
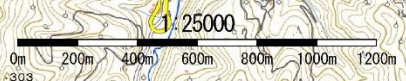
事業概要	
受益面積	49.8ha
主要工事	堤体工 H=11.6m L=336m (A区間L=150m B区間L=186m)
工期	令和8年～令和15年
事業費	840,000千円
関連事業	-
事業主体	愛媛県



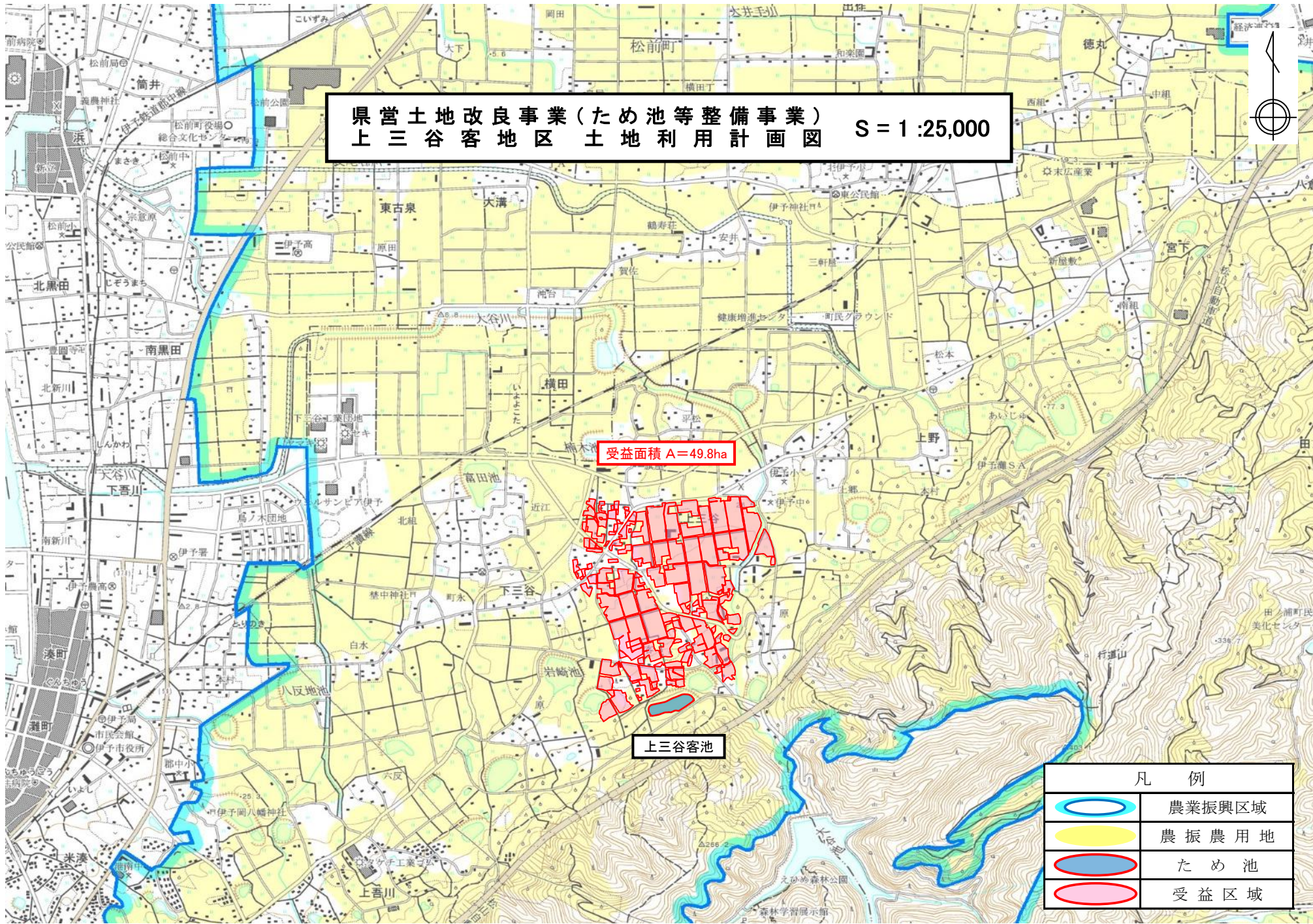
電子地形図25,000 (国土地理院) を加工して作成

凡例	
	高速道路
	国道
	主要地方道
	県道

凡例	面積 (ha)
	ため池 1.3
	受益区域 49.8
	被害区域 126.5







県営土地改良事業(ため池等整備事業)  
 上三谷客地区 土地利用計画図 S = 1:25,000



受益面積 A=49.8ha

上三谷客池

凡 例	
	農業振興区域
	農振農用地
	ため池
	受益区域

